



## 5月は赤十字運動月間

日本赤十字社は、5月1日から「赤十字運動月間」として全国キャンペーンを実施します。

月間中は、広く赤十字思想の普及と活動紹介等に努めるとともに、活動資金のご協力と「赤十字社員」の拡大をお願いしています。

**災害時、すぐ動くために、  
みなさまからの活動資金が必要です。**

**「社員」にご加入をお願いします。**

**社員とは？** 赤十字社の人道的な活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく方のことです。日本赤十字社は、皆様から託されたこの資金で運営しています。

### 平成24年京都府赤十字大会を開催

#### 平成24年 京都府赤十字大会



日本赤十字社京都府支部では、平成24年11月20日に京都テルサで、高円宮妃殿下ご臨席のもとに平成24年京都府赤十字大会を開催し、受章者をはじめ府内の赤十字関係者約700名が参加されました。妃殿下は、「赤十字運動に参加する人々の輪がさらに広がっていくことを心より願っております。」とお言葉を述べられました。

# 赤十字運動月間キャンペーン



ポルタプラザで啓発物を配布する小石原副支部長



ポルタプラザの救急法体験コーナー

5月12日～13日に「ひろげよう赤十字の輪（和）」として、京都駅地下街ポルタにおいてパネル展、健康相談コーナー、救急法体験コーナーなどを設置し、多くの来訪客で賑わいました。

また、5月10日には阪急長岡天神駅前で通勤電車の乗降客に支部・地区関係者が赤十字啓発チラシなどを配付しました。

さらに、京都市内各区で開催されるふれあいまつりの多くに広報啓発ブースを設置し、赤十字活動のPRにつとめました。



駅前で啓発物を配布する小田長岡京市地区長（長岡京市）

## 平成24年度に 参加した おもな ふれあいまつり

東山区民ふれあひひろば	5/27
北区民春まつり	6/3
左京区民ふれあいまつり	7/29
右京区民ふれあひフェスティバル2012	10/27
上京区民ふれあいまつり2012	10/28
中京区民ふれあいまつり2012	10/28
下京区ふれあひひろば	11/11
南区民ふれあいまつり	11/11



## ①赤十字標章について

赤十字標章（マーク）は戦時や紛争の際に命を守るための大切なマークで、その使用方法は国際的な決まり（条約）や法律により厳格に定められています。平時に、赤十字と関係の無い団体などが赤十字標章を勝手に使うことは出来ません。

次のようなケースは、「赤十字マーク」を使用することができません。



## 青年奉仕団 (RCY)

7月28日～29日、KKR京都くに荘にて「RCYピアリーダー養成研修会」を開催し、13府県から合計42名が参加しました。



### ②「ピア・リーダー」とは

ピア・エデュケーションとは、同年代で価値観をともに感じあえる仲間（ピア）と共にHIV/AIDSの感染予防を啓発していく活動で、この活動の推進役を務めるのがピア・リーダーです。



グループワークに取り組む研修参加者

## 青少年赤十字 (JRC)

8月4日（土）～6日（月）の2泊3日、宇治市総合野外センター「アクトパル宇治」で、平成24年度青少年赤十字トレーニングセンターを開催し、府内の小、中、高等学校から86名（小54、中17、高15）が参加しました。



フィールドワークで関所の課題に取り組む参加者



朝の集いで全員が集まって記念撮影

8月16日～22日、第4（近畿）ブロックの合同事業としてJRC国際交流派遣事業が行われ、京都府支部からも中学、高校のメンバー2名が参加しました（派遣先：シンガポール、マレーシア）。



マレーシアのメンバーと文化交流



シンガポールのメンバーと救急法について意見交換

## 災害救護活動（各種防災訓練への参加）

地方自治体が主催する防災訓練に積極的に参加しました。



9月1日 京都市総合防災訓練



9月2日 京都府総合防災訓練



9月2日 福知山市総合訓練



11月4日 綾部市防災訓練

### ●平成24年度に参加した主な防災訓練（平成24年12月31日現在）

訓練名称	実施日	会場	参加者数
第4ブロック合同災害救護訓練	5/26	奈良県大和郡山市	54
京都市総合防災訓練	9/ 1	京都市左京区（岩倉東公園）	23
京都府総合防災訓練	9/ 2	大山崎町淀川河川公園	27
福知山市地域防災訓練	9/ 2	福知山市（由良川河川敷）	26
NBC災害・テロ対策研修	10/11~13	大阪府立急性期・総合医療センター	6
近畿府県合同防災訓練	10/28	兵庫県神戸市	6
綾部市総合防災訓練	11/ 4	綾部市西部グラウンド	19
出水学区総合防災訓練	12/ 2	京都市上京区（二条城北小学校）	7
合		計	168

## 赤十字講習会

健康で安全な生活を送っていただくために「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」などの講習を開催しています。

### ●講習会の種類と受講者数（平成24年12月31日現在）

講習区分	資格講習						短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		救急員等資格継続研修		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数	回数	人数				
救急法	27	1,034	11	312	2	53	43	1,611	83	3,010
水上安全法	—	—	1	18	2	15	7	234	10	267
健康生活支援講習	—	—	1	9	1	20	45	910 (420)	47	939
幼児安全法	—	—	3	29	1	13	22	442	26	484
合計	27	1,034	16	368	6	101	117	3,197	166	4,700

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習会の受講者数の再掲。



心肺蘇生（AED）実習に取り組む救急法指導員



水面での全脊柱固定の要領を確認する水上安全法指導員

## 有功会の活動

京都府支部有功会は、赤十字の行う人道的な諸事業に賛同し、金色有功章（50万円以上の寄付者に対する表彰）を日本赤十字社から贈られた方々が、赤十字活動を支援していこうと、昭和37年に全国で4番目の有功会として結成された団体で、現在、会員は411名です。



有功会創立50周年記念総会で祝辞を述べる山田京都府支部長（京都府知事）



小児科病棟に入院している児童に激励のクリスマスプレゼント

## 京都の赤十字施設

### ●京都第一赤十字病院

昭和9年11月の開設以来、京都府域の中核的医療機関として親しまれてきました。平成9年には、救命救急センター及び総合周産期母子医療センターを設置し、ヘリポートを備えた京都府基幹災害医療センターとして、さらなる発展を遂げています。

平成12年に第一次改築工事が完了しA棟に続きB棟が竣工、平成24年9月にはC棟が竣工しました。課題であった老朽化を解消し、耐震化によりさらに安全性の高い災害拠点病院にふさわしい建物に生まれ変わりました。

C棟ではICUとHCUを備えた「集中治療病棟」、「りんごの森」プレイルームを擁した30床の「小児病棟」等を整備し、検査・病理部門、放射線部門、リハビリ部門についても機能を強化しました。また、健診センターは、診療部門から独立し、受診者へのアメニティの向上を図りました。

現在は管理棟を新築中です（平成26年9月竣工予定）。

京都第一赤十字病院  
〒605-0981 京都市東山区本町15-749

☎(075)561-1121  
☎(075)561-6308



病院の外観（手前がC棟）



小児病棟内に設けられたプレイルーム「りんごの森」

### ●京都第二赤十字病院

患者ニーズに応えるべく、最新技術を必要とした検査・治療実施のため、近年3機種の新放射線関連における装置の更新を行いました。まず、放射線治療装置として、リニアック治療装置の更新です。高精度治療として、副作用が非常に少なく、腫瘍にはピンポイント照射が可能であり、綿密な治療計画により、On Lineで治療できるものです。

2台目は、血管撮影装置の更新です。2方向からの同時撮影ができ、また最新の画像処理技術により、被爆線量の大幅な低減が可能となった装置です。3台目は、核医学装置の更新です。ガンマカメラとしては、世界的に有名な装置です。これらの新しい機器の導入により、検査機能の充実、患者サービスの向上にも繋がっています。

京都第二赤十字病院  
〒602-8026 京都市上京区金座通丸太町上る

☎(075)231-5171  
☎(075)256-3451



高精度放射線治療装置



ガンマカメラ

## ●舞鶴赤十字病院

京都府中丹地域医療再生計画に基づき、「リハビリテーションセンター」としての機能を充実強化するとともに府緊急時放射線検査施設を整備します。

平成25年秋に回復期病棟の工事を着工し、平成26年度中には完成予定です。

ベッド数198床のうち、現在48床は療養病棟ですが、工事完成後は回復期病棟に移行します。



完成予想図



病院の外観（平成25年4月現在）



東日本大震災の避難所で救護にあたる医師・看護師

### 舞鶴赤十字病院

〒624-0906 舞鶴市字倉谷427

☎(0773)75-4175

FAX(0773)76-3724

## ●京都府赤十字血液センター

京都では、3ヶ所の献血ルームと4台の献血バスが府内を巡回し、1日平均310人に献血のご協力をいただいています。この310人というのは、京都府内で1日に必要な献血者数です。輸血を必要とする患者さんのうち約85%の方は定期的な輸血を受けられており、年齢も50歳以上の方が約85%を占めます。近年、移植手術等の増加で輸血用血液の需要が高まっています。輸血医療を支えるために、府民の皆さま一人ひとりの献血へのご協力が、より一層不可欠となっています。



献血ルーム四条

### 京都府赤十字血液センター

〒605-0941 京都市東山区三十三間堂廻り町644

☎(075)531-0111

FAX(075)541-9485

### 京都府赤十字血液センター 福知山出張所

〒620-0853 福知山市長田野町1-31-1

☎(0773)27-6630

FAX(0773)27-6723

### 献血ルーム四条

〒600-8006 京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル5F

☎(0120)640-388

### 献血ルーム京都駅前

〒600-8216 京都市下京区烏丸通七条下ル 京阪京都ビル6F

☎(0120)569-356

### 献血ルーム伏見大手筋

〒612-8053 京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F

☎(0120)731-350



献血ルーム伏見大手筋

# 平成24年8月京都府南部豪雨災害と同災害に対する救護活動について

平成24年8月13日（月）から降り続いた豪雨により、宇治市を中心とした京都府南部地域に大きな災害が発生しました。京都府支部では、日付の変わった14日より職員が庁舎で待機、情報収集を行い、11時45分に支部職員2名、救護班（医師1名、看護師1名、事務職2名）を現地へ派遣。18日までに救護班延べ3班を派遣するとともに、宇治市災害対策本部へ医療コーディネーターとして、支部職員2名、医師2名を派遣し、巡回診療、本部運営等を行いました。また、救援物資の搬送や宇治市ボランティアセンターの運営に、赤十字レスキューチェーン京都のボランティアメンバーが協力しました。



宇治市消防本部で情報収集・活動打ち合せ



被災地域での巡回診療（下炭山地区）

# 平成24年8月京都府南部豪雨災害義援金の募集状況について

上記の災害に対し、京都府支部では京都府や関係団体と連携のうえ、速やかに義援金の募集を開始しました。日本赤十字社としての受付実績は右のとおりです。

京都府支部の受付分	990件	28,633,843円
日赤本社、その他の都道府県支部受付分	1,499件	8,420,320円
合計	2,489件	37,054,163円



## ■ 毛布



## ③被災者にお届けする救援品

日本赤十字社では、災害に遭われた方にお渡しするための救援物資を府内各倉庫に備蓄しています（被災状況によりお届けする内容は異なります）。

## ■ 安眠セット

品名	名
折畳マット	アイマスク
空気枕	耳栓
スリッパ	収納袋
靴下	



## ■ 緊急セット

品名	品名
タオル	ウェットティッシュ
ポケットティッシュ	軍手
ゴム手袋	ビニール袋
コップ	スプーンフォークセット
物干しロープ	洗濯バサミ
救急絆創膏	弾性包帯
ガーゼ	マスク
風呂敷	毛抜
懐中電灯	天チャックポーチ
鉛筆	メモ用紙
ブックレット	バッグ（外袋）



## ● 義援金と活動資金の違いについて

